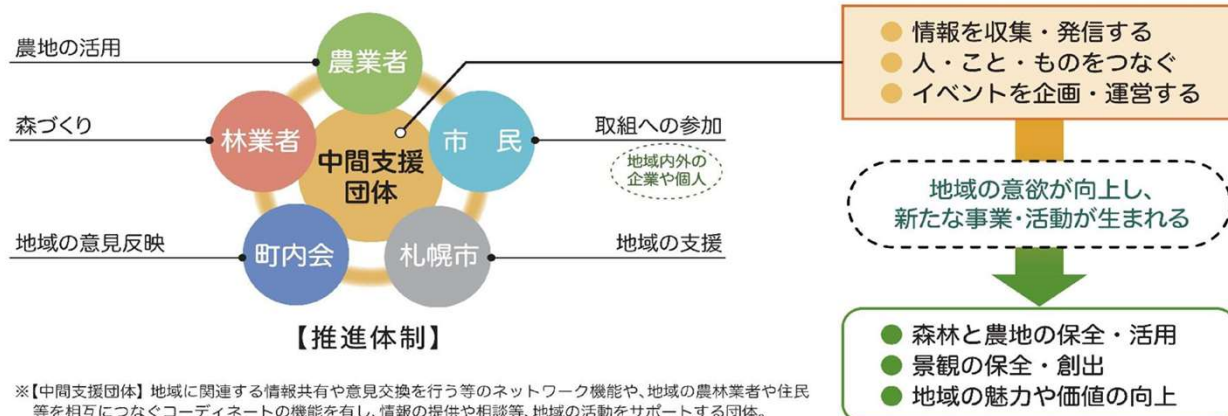


小別沢の取組

経緯

2019年～2022年:土台作りと合意形成

小別茶話会における対話や小別沢新聞等により、地域の将来像と推進体制を模索。森林整備スタート。



2023年～2025年:中間支援団体による取組の推進

中間支援団体（㈱やまのかいしゃ）を中心に、地域内外の多様な人と分野の連携を図り、交流の輪を拡大。森林整備や農地の活用を推進。

2026年～:地域主体の持続可能な活動へ

都市近郊の里山地域という特色を活かし、地域の魅力や価値の向上につながる取組を継続し、地域を活性化していく。

課題

- ・取組を継続するための人材・財源の確保、農林産物の高付加価値化
- ・里山地域ならではの森林整備と農地活用
- ・地域外に住む土地所有者との連携、関係人口の増加

具体的な取組



森林・農地の保全

- ・森林整備（森林作業道の整備・間伐）
- ・農地の借受（小麦の作付・体験農園開設等）



資源の活用

- ・薪やホダ木の販売
- ・円山動物園への枝葉の販売と畑への堆肥の還元
- ・小麦の加工（クッキーなど）販売



地域・人の交流

- ・中間支援団体の立上げ
- ・町内回覧やSNSによる情報発信
- ➡ 地域内外の大人や子ども、学生、企業等との交流拡大

